

就労継続支援B型事業所「しべちやコスモス」(標茶町)

○基礎情報【経営形態：標茶町育成牧場での各種作業など】

【職員数：4名、事業所利用者数：10名】



ホンダワラ(海藻)をこす作業

<問い合わせ先> しべちやコスモス ☎ 015-486-9777

1 農福連携に取り組んだ経緯

標茶町社会福祉協議会が、障がい者の自立支援を願う保護者の声にこたえて小規模授産施設を平成元年に開設。平成20年には就労継続支援B型に事業移行。利用者のニーズをしっかりと把握し、一人一人の個性を活かせるよう支援。

2 取組内容

- (1) 就労形態：就労継続支援B型事業所。町内から通所。
利用者は10名（精神障がい者1名、知的障がい者9名）
- (2) 就労期間：通年
- (3) 就労時間：8:30～15:30
(昼休憩 12:00～13:00、その他小休憩あり)
- (4) 利用者の作業内容
 - ①標茶町からの受託・・・標茶町育成牧場(多和平)で牛飼料袋や廃プラスチックシートを洗浄・整理する作業。
また、「牛のゲップに含まれるメタンガスを抑制する効果があるとされるホンダワラ(海藻)」を干して小さくカット・粉碎する作業を試験的に実施。
 - ②製品の製造・販売・・・標茶町育成牧場から牛ふんや羊毛を購入し、牛ふんはふるいにかけ肥料として400円/10kgで販売。
羊毛は帽子や靴下に加工して販売。
 - ③民間からの受託・・・種苗会社からは植林用の小さな苗を抜く作業。酪農家からは廃プラスチック容器の整理作業や販売直前の牛のブラッシング作業などを受託。



3 取組の特徴

地域に根ざした活動や人との触れ合いを大切にし、イベント参加や交流事業を積極的に行い、社会性や協調性を高められるような活動を実施している。



イベントの実施

作業だけでなく心のリフレッシュとしてポーリング大会等の開催を行っています

4 障がい者就労への考え方

障がいを持っていても外で働き、休日はリフレッシュするなどいきいきと自立した生活を営んでいただけるように支援していきたい。



屋外での作業

種苗会社からは植林用の小さな苗を抜く作業を受託 細かい作業に集中

5 今後の予定や将来展望

- (1) 重度の障がいを持つ者が少ないため、屋外での作業受託が可能であるが、高齢化と女性の割合が半数を占めているため、重労働の受託が困難となってきた。
- (2) 収支状況が厳しいため、施設利用者の拡大(給付金の増加)や、それに伴う各種作業受託により、収支の安定が望まれる。